

山松暖暖

だんだんまつやま

vol. 15

TAKE FREE

”伝統に新風が吹くまちで
温故知新“の旅をする。

道後REBORN

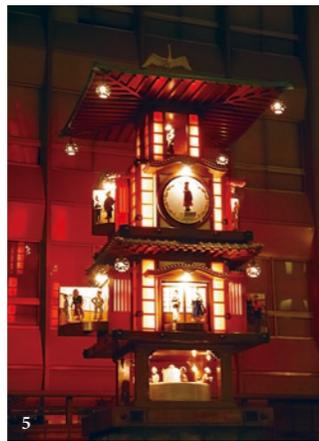
道後温泉



表紙:「道後REBORN プロジェクト」のキービジュアル(上)とシンボルマーク(下)。時空を超えて舞う火の鳥が永遠の繁栄を祈る。火の鳥とコラボした道後温泉の歴史のオリジナルアニメ化も予定されている。P14参照。
©TEZUKA PRODUCTIONS



1_道後温泉本館の湯釜 2_堀之内で行われている堀之内マルシェ 3_松山城のふもとにあるロープウェー街
4_柳井町商店街のロダンカフェ 5_道後温泉駅前の放生園にある「坊っちゃんカラクリ時計」



現在の大街道一番町入口

vol.15 CONTENTS

- 02 新旧がコラボするベイエリア
若者に人気の港町・三津浜
- 04 松山人の心のふるさと「城山」に
このまちの歩みを思う
- 06 城下の南でがんばってます
ユニークな商店街のまちおこし
- 08 レトロ電車も次世代型も
新旧の路面電車が走ります
- 10 やっぱり松山は俳句のまち
俳人ゆかりの庵を訪ねる
- 12 伝統を受け継いで進化させる
老舗のスピリットと熱い挑戦
- 14 いで湯とともにこれからも
百年先を見据えた道後温泉
- 16 松山に移り住んで⑥
伝統と革新で、人気の石臼豆腐店「まめ楽」を営む。
小柳義治さん
- 17 松山MAP アクセス



田舎のおだやかさもあれば都会の便利さもある。文化や歴史の楽しみもあれば、海や島の楽しみもある。あったかい温泉もあれば、あったかい人間味もある。松山は、何かひとつだけがスゴイのではなく、いろんなよさが絶妙に程よく混ざり合う街です。気の向くままにいろいろ楽しみ、味わい、暮らせる街です。そういう松山らしい、ちょうどいい量かさ。この街に住む人、訪れる人にもっともっと。

※本誌に掲載している情報は、「暖暖松山」編集部が独自に選定しています。
※料金は税込で表示しています。

”故き“に導かれ、
”新しき“に目覚める。

人口51万人、四国最大の都市・松山市は、明治22年(1889)に市制が敷かれ、平成31年(2019)に130年の節目を迎えます。まちの原型は江戸時代の初めに作られた城下町。今もまちのシンボルとしてそびえる松山城を中心に、市街地がのどかに広がっています。このまちは、15万石の親藩だった江戸の昔から、武芸や政治だけではなく文化も愛する素地があったようで、藩内では、俳諧をはじめ、茶の湯や能楽が盛んでした。名菓タルトは、松山藩のお殿様が直々に、長崎から製法を持ち帰ったといわれており、藩主からして、暮らしや趣味を楽しむからやかな心を持っていたようです。今回は、そんな風土を持つ松山の7つの”温故知新“を旅しました。かつて松山の玄関口だった三津浜からご紹介しましょう。



大街道一番町入口(昭和11年、松山市所蔵)

伝統



厳島神社の秋まつり

勇ましい喧嘩神輿で知られる

歴代藩主が参勤交代の折に安全祈願をした神社。毎年10月7日午前1時から宮出しが行われ、境内での激しい鉢合わせは「喧嘩神輿」の異名をとる。

松山市神田町1-7 / TEL089-951-1471

ランドマーク



伊予鉄道三津駅

湊石はこの駅から汽車に乗った

伊予鉄道で最も古い駅の一つ。平成21年に改築され、先代のデザインを引き継ぐアール・ヌーボー調の駅舎入口には、三津浜花火大会がモチーフのステンドグラスが飾られている。

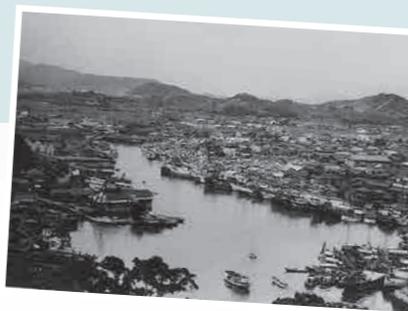
松山市三杉町8-19 / TEL089-951-0071



三津浜は松山の、海の玄関口として繁栄してきた。三津浜の発展は、松平家初代藩主の定行が御船手400戸を配置したこと始まる。今も、御船手専用に使われた井戸など、当時を想起させる史跡が残っている。

鉄道の延伸などで町はかつてのにぎわいを失ったが、先の大戦で空襲を免れたため、江戸期からの町家が今もたくさん残っている。

近年、港町の風情あふれるこの町に、「暮らしやすい」という理由で移り住むクリエイターやアーティストが増えている。若い人が、リノベーションにより蘇った古民家で店を開く動きも活発だ。昔ながらの路地をめぐると、醤油屋や旗屋など歴史ある店とともに、フレンチやイタリアンレストラン、お洒落なパン屋などが立ち並び。新旧の店が調和した魅力あるまちに生まれ変わっている。



たくさんの漁船が停泊する三津内港。藩政時代には船奉行所が置かれていた(昭和28年、松山市所蔵)→



若者に人気の 港町・三津浜

新旧がコラボするベイエリア

藩政時代から栄えた三津浜。松山の「海の玄関口」として物資とともに文化の入り口でもあった。

若者の移住と起業で、
活気を取り戻す

洋風建築



石崎汽船旧本社ビル

大正時代のレトロモダンな建物

萬翠荘や愛媛県庁舎などを設計した木子七郎によるモダンな鉄筋コンクリート造りの建物。大正13年(1924)竣工、平成25年まで本社ビルに使われていた。国登録有形文化財。

松山市三津1-4-9 / TEL089-951-0128 (本社)



三津浜MAP

松山市駅から三津駅まで伊予鉄道高浜線で約15分。

移住



バッグの修理「Reterra」

東京から1ターンで開業

三津浜には個性豊かな移住者が集まっている。リテラは、東京から移り住んだ革職人の寺阪司さん夫妻が営む、バッグの修理の店。

松山市住吉1-3-28 / TEL089-916-3889 / 火・水・木曜定休 / 月・金曜12:00~18:00、土・日曜10:00~18:00



グルメ



三津浜焼き

松山のソウルフード

三津浜地区で古くから親しまれているお好み焼きの一種で、ちくわや麺が入る。提供店は多く、店ごとの味が楽しめる。老舗の「みよし」は三津浜に2店ある。

・駅前店:松山市住吉1-4-17 / TEL089-952-3262 / 無休 / 10:00~18:30
・三津店:松山市住吉2-4-3 / TEL089-952-3359 / 無休 / 10:00~18:30

現在の三津内港





松山人の心のふるさと「城山」に

このまちの歩みを思う

松山市の真ん中にある松山城。

本丸、二之丸、三之丸(堀之内)を含む全域は

「城山公園」として、国史跡になっている。

ここはまちの発展を見守ってきた

松山のシンボルであり、市民の心のふるさとでもある。

お城を中心に松山の歩みを駆け足で追ってみる。



明治時代の松山城
(松山市所蔵)

21棟の建造物が国の重要文化財に指定。天守からは瀬戸内海も見える



明治

押し寄せる文明開化の波 『坂の上の雲』を目指す若者たち

江戸末期、幕府側についた松山藩は、逆境の中で明治維新を迎えた。しかし、文明開化の息吹に満ちた明治という時代は、理想に燃える若者の心を奮い立たせた。松山藩士の家に生まれた正岡子規や秋山好古、真之兄弟など青雲の志を抱いた者たちは、故郷から飛び出していく。

明治22年(1889)、市制施行により松山市が誕生。前年、日本初

現代

時代を象徴する堀之内 憩いの空間に生まれ変わる

太平洋戦争で焦土と化した松山の、戦後復興のきっかけは、昭和28年に堀之内を主会場に行われた国体だった。兵舎が取り除かれた堀之内に、体育館、陸上競技場などが誕生した。

こうしたスポーツ施設は平成に入って郊外へ移転し、現在、堀之内は緑豊かなセントラルパークになった。本丸が変わらぬ姿を見せるのに対し、堀之内は時代を映す特別な場所だといえる。

江戸

名城を仰ぐ城下町 藩主の嗜みで広がる文化

松山城は今から400年ほど前、関ヶ原の戦いで戦績を挙げた加藤嘉明が、25年あまりの歳月をかけて築いた名城だ。山腹に二之丸、山麓に三之丸をかかえた壮大な設計と、現存12天守の一つとしての風格は、国内屈指の城としての佇まいを見せている。

加藤嘉明の会津転封後は、蒲生忠知を経て、桑名城主だった松平定行が松山に入った。以後、松平家が明治維新までの長きにわたり、15万石の親藩としてこの地を治めた。

松山藩は飢饉もあって財政難が続いたが、そんな中でも藩主の嗜みにより、領内では俳諧や茶の湯が盛んになった。これが後に、正岡子規らによる近代俳句の誕生につながっていく。



松山城初代城主の加藤嘉明にちなんだマスコットキャラクター「よしあきくん」



そそり立つ石垣は、押さえておきたいフォトジェニックスポット

COLUMN

明治維新 150年記念イベント

甲冑 試着体験コーナー

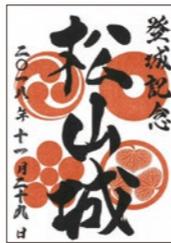
平成31年3月31日まで土・日曜の9:00~16:00(15:45受付締切)松山城本丸広場で実施(雨天時は天守体験コーナーで実施)

火縄銃体験コーナー

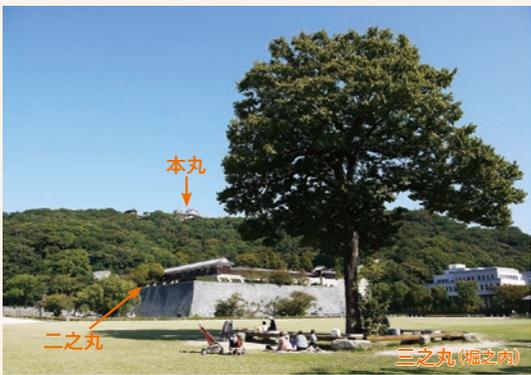
火縄銃を手にとって狭間に構えて楽しめる。松山城天守内で実施



松山城登城記念符



歴代城主の家紋をあしらった「松山城登城記念符」を、1枚300円で好評発売中!



堀之内は市民の憩いの場として親しまれている



① **みつばや 三葉屋**
創業68年なつかしのパン屋

昭和25年創業。冷凍・冷蔵の生地は使わず、その都度仕込みをするのが代々のポリシー。アゲパン、コッペパンなど、懐かしい名前が優しい味のパンが約30種、ショーケースに並ぶ。キュートな包装紙もチェック。
松山市湊町3-5-24 / TEL089-921-1616 / 8:00~19:00 / 日曜



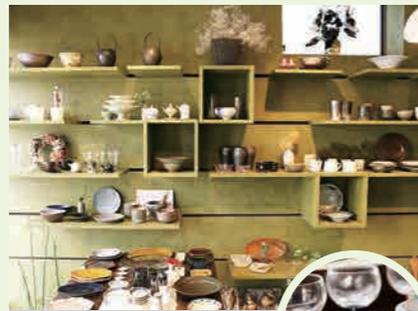
② **ロダン カフェ rodan-caffé**
散歩途中で深煎り珈琲タイム

焙煎歴28年のオーナー西口輝彦さんが作る手焼焙煎珈琲豆は、全国にファンを持つ。2017年にオープンしたこの店は、オーナー自らがネルドリップで丁寧に淹れた一杯を楽しめる。コーヒーカップは砥部焼。
松山市柳井町1-13-15 1F / TEL090-4509-5717 / 12:00~18:00 / 月曜・第1、3日曜



③ **うまぐもしよてん 浮雲書店**
旅先で自分が変わる一冊を

暗い古本屋のイメージをくつがえす、大きなショーウィンドウの外観。「旅先では古本屋をはしごする」というオーナーの元に集まった絵本や美術書、哲学書など約3000冊が、アンティークな店内に並ぶ。
松山市柳井町1-13-16 101 / TEL070-5515-7447 / 12:00~21:00 (12月~2月頃は20:00まで) / 不定休



④ **うつわ屋独歩**
食卓が楽しくなる器

シンプルだが使い勝手のよい、作り手の思いが伝わる器を集めた店。普段の食卓で使ってもらいたいと、手の届きやすいお値段。築60年の木造2階建ての民家をリノベした、落ち着いた雰囲気も魅力。
松山市柳井町1-1-5 / TEL089-961-4375 / 10:00~17:00 / 不定休



⑤ **くるしまかなものてん 来島金物店**
昭和から変わらぬ佇まい

創業は昭和20年代。歴史を感じる堂々たる建物の店内に入れば、雪平鍋から50リットル以上の大型鍋、銅のおろし金、アルミ製のタライまで昭和の博物館のよう。松山名物「鍋焼きうどん」に使うアルミ鍋もここで購入できる。
松山市柳井町1-2-12 / TEL089-921-8728 / 8:30~18:00 / 日曜

個性派オーナーが集まる通りへ

独自の発想で蘇っている商店街を紹介しよう。その仕掛け人は、人情味あふれる柳井町商店街に魅せられて、ここに店を構えてイベントを企画している渡部勝平さんと、「家ではなく、まちに住む」というコンセプトで、型破りのデザイナーズアパートを手がけている湯川一富さん。
二人は、柳井町の魅力を知ってもらおうと、郊外にある人気店のオーナーらに對して、商店街で開催する夜市などのイベントへの出店を呼びかけてきた。イベントは、住人に昔のにぎわいを思い出してもらい、店を開けてもらうというねらいもある。
その結果、生活と商売がいいあひだいで隣り合った商店街に、魅力を感じた新しいオーナーの出店が続いている。また、おしゃれな集合住宅と、个性的な店の登場で、商店街の近くに住みたいという若者も増加中。こうして商店街は少しずつ活気を取り戻している。



ユニークな商店街のまちおこし

城下の南でがんばっています

中の川をはさんだ『南銀天街』と『柳井町商店街』は、銀天街・大街道へ続く通り。最近、若い人たちが集まって、新しい発想でまちを盛り上げている。

港町・三津と松山城下をつないだ中の川の水運

江戸時代の末期、松山城下から三津まで水運が開かれた。城下に置かれた船場(荷揚げ場)は、今の銀天街そばの「中の川」にもあり、三津と結ばれた。現在、銀天街のある地名が「湊町(みなとまち)」なのは、瀬戸内海まで舟でつながっていたことを物語るといわれている。



昭和37年頃の中の川。風情がある柳並木(松山市所蔵)



COLUMN

柳井町商店街を盛り上げる仕掛け人



店主さんたちに気軽に声をかけて！

商店街の元気リーダー

柳井町商店街理事長 渡部勝平さん
10年前、中学時代の部活仲間と面白いことやろうよ!のノリで始めたまちおこし。風が吹くとユルユル回る、通りのシンボルになっている「かざぐるま」も僕らが考案しました。



外国人観光客も好きになるまち!

柳井町のお洒落空間デザイナー

湯川住み方研究所 湯川一富さん
90年薬局を営んでいた建物をリノベして、テナントビルが完成しました。新しいオーナーが続々入居中です。有線の音楽に、昭和を感じるレトロな建物...ぶらり散歩にきてください。



レトロ電車も次世代型も

新日の路面電車が 走ります

松山の市街地を走る路面電車はバラエティ豊かだ。昭和から平成にかけて造られた、年も形も異なるさまざまな車両の行き来する風景が見られておもしろい。

↓昭和2年頃の西堀端あたりの風景
(愛媛県師範学校昭和2年度第40回卒業記念写真帖より)



松山の電車のはじまりは、「坊っちゃん列車」だった

明治20年（1887）設立の伊予鉄道は、民営鉄道としては全国で2番目に古く、軽便鉄道とよばれる小鉄道としては国内初の創業である。その後、ライバル社の吸収合併を行いながら、また、路線の統廃合を経て現在のルートが生まれた。夏目漱石が乗り、小説「坊っちゃん」で、「マッチ箱のような汽車」と形容されたのは、明治21年（1888）から67年間、道後平野を走っていた蒸気機関車で、「坊っちゃん列車」と呼ばれていた。平成になって復元された「坊っちゃん列車」は、かわいい観光列車として親しまれている。

梅津寺公園には ホンモノが!!

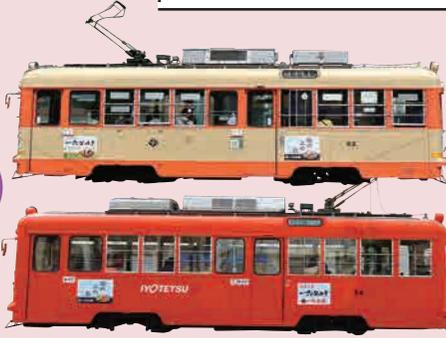


伊予鉄道1号機関車、通称「坊っちゃん列車」を展示。日本に現存する最古の軽便機関車で、日本国有鉄道指定記念物、愛媛県指定有形文化財

現役車両オールスターズ

運行開始

昭和26年
(1951)~



モハ50形

伊予鉄道オリジナルの車両。前面・側面の番号で製造年がわかる。なつかしいツートンカラーの車両は少なくなったが、まだ市内を走っている

昭和54年
(1979)~



モハ2000形

かつて京都市内を走行していた京都市電から譲渡された車両。写真は昭和40年(1965)頃製造の車両

平成13年
(2001)~
復元



回転場が見どころ

先頭の車両を人力で回転させた後、客車と連結させる。松山市駅・古町駅・道後温泉駅でしか見られない珍しい風景。制服姿の乗務員の活躍ぶりにも注目!



平成14年
(2002)~



モハ2100形

国産型超低床車両。窓が広く、音も静か

平成29年
(2017)~



モハ5000形

未来型流線形デザインの低床バリアフリー型車両。2100形に比べ定員も増え、通路幅も広め

モハ50形に
乗って
みました



チンと鳴る
降車ボタン

上下に開ける窓

年季が入った
木製の床面

広くゆったりとした通路

COLUMN

女性運転士さんがんばっています

平成29年(2017)、愛媛で戦後初となる女性運転士が2人誕生した。その1人、木村麗奈さんは2年の車掌経験後、運転士となった。松山で生まれ育った木村さんにとって、幼い頃からなじみのある路面電車。「坊っちゃん列車に手を振ると、いつでも乗務員さんが見つけてくれて手を振り返してくれたことが、すごくうれしかった」と言う。

新しいことに挑戦したいと運転士を目指した木村さん。「お客様から今日は女性運転士の電車に乗ってラッキーだから、宝くじを買って帰ろうと言われたことが心に残っていますね」。

将来の夢は「坊っちゃん列車」を運転すること!いつか、坊っちゃん列車を運転する木村さんの姿が見られるかもしれない。



今日も安全第一で出発進行!



やっぱり松山は俳句のまち

俳人ゆかりの 庵を訪ねる

種田山頭火の「一草庵」 やさしかった松山の人々

すべてを捨てて行乞の旅に出た自由律の俳人・種田山頭火は、昭和14年秋、広島から松山にやってきた。

昭和初めの四国遍路で受けた温かいもてなしが忘れられず、また、松山は敬愛する俳人・野村朱鱗洞の故郷でもあった。

ひよいと四国へ晴れきつてゐる

松山の俳人たちは山頭火を温かく迎え入れ、山頭火のために松山城北側の閑静な場所にある庵を住まいとして用意した。庵は「一草庵」と名づけられ、温泉好きな山頭火は、庵からほど近い道後温泉に通っては、湯上りの一杯を楽しんだ。

朝湯こんこんあふるる
まんなかのわたくし

酒の好きな山頭火は、泥酔して路上で寝たり、金を持たずに店で飲食するなど、しばしば周りの人を困らせた。だが、自らの食べ物に窮しながらも犬や猫の面倒をみる優しさがあり、借りた金はきちんと返すなど几帳面な一面のある山頭火を、松山の人たちは温かく見守って最期まで支えた。

一草庵での暮らしは1年ほどだったが、月例会を開き、一代句集『草木塔』を刊行するなど、充実した生を送った。昭和15年10月11日、望んでいた「ころり往生」を遂げる。57歳だった。

死後も松山は山頭火を忘れなかった。昭和27年、老朽化していた庵は有志の手で再建され、昭和55年（1980）に松山市に寄贈された。その後、周辺整備と庵の改修が行われ、遠方からのファンを迎え入れている。

一草庵

現在、一草庵は内部公開されている。ガイドを務めるのは「NPO法人まつやま山頭火倶楽部」のメンバーで、毎年、命日に近い休日に「山頭火一草庵まつり」を開き、法要を行っている。

松山市御幸1-435-1
3/1~6/30および9/1~10/31の土・日・祝日 9:00~17:00、7/1~8/31の土・日・祝日 9:00~17:30、11/1~12/27および1/5~2/28の土・日・祝日 9:00~16:30 / 入場無料 / 問合せ 松山市教育委員会文化財課 TEL089-948-6891
※時間は変更になる場合がございます。



種田山頭火

自由律俳句の俳人。明治15年(1882)山口県生まれ(本名・正一)。早稲田大学文学科中退。「屠雲」萩原井泉水に師事。家業の没落、一家離散などを経て出家得度、放浪の旅に出た。昭和15年(1940)死去。

山頭火の師・萩原井泉水の書による扁額。一草庵の縁側の欄間にあり、外玄関のものはレプリカ(上)山頭火終焉の地となった「一草庵」(下)



句碑や俳句ポストなどがまちのあちこちで見られる。俳句“松山は、十七音の調べが漂うまち。漂泊の俳人・山頭火が生涯を終えた一草庵、江戸時代の俳人・栗田樗堂の庚申庵、子規・漱石ゆかりの愚陀佛庵に加えて、俳人・夏井いつきさんの伊月庵もお目見えした。



夏井いつき
俳人。昭和32年愛媛県生まれ。松山市在住。黒田杏子に師事。「俳句甲子園」創設時から運営に関わるほか、俳壇選者、ラジオやテレビ出演で活躍中。全国を飛び回り句会ライブを行っている。「俳都松山大使」でもある。



松ヶ枝町といわれていた、現在の上人坂(右)。写真(左)は昭和34年(松山市所蔵)

夏井いつきさんの伊月庵 「俳句の種まき」の拠点に

一遍上人の生誕地・宝蔵寺へとゆるやかに続く上人坂は、子規や漱石が俳句の吟行で歩いた道。その一角に、夏井いつきさんが句会場として開設した「伊月庵」がある。本名「伊月」にちなんだ名前だ。白壁に木を多用した建物は、周囲の景観にじっくりなじんでいる。設計にあたって夏井さんが唯一希望したのは、「桜の木を一本」。広々としたウッドデッキは、吟行後に句の推敲を行う空間になるとともに、桜など季節ごとに花や樹木を楽しむ場ともなる。

松山市内にある3庵に伊月庵が加わることで、「4庵めぐり」として松山観光の目玉になれば、松山への恩返しにも」と夏井さん。俳句が100年先も富士山のような高く美しい山でありつづけるため、その種まきに励んでいる。



厳しくも愛情ある夏井さんの評に、会場は和気あいの雰囲気



モダンな伊月庵の外観



他の庵も
巡ってみよう

伊月庵

松山市道後湯月町甲162
問合せ・申込みは(株)夏井&カンパニー
TEL&FAX 089-908-7520

庚申庵史跡庭園

松山市味酒町2-6-7
TEL089-915-2204

愚陀佛庵

松山市立子規記念博物館内に復元
松山市道後公園1-30
TEL089-931-5566





道後唯一の造り酒屋 水口酒造

明治28年(1895)創業。前年に建てられた道後温泉本館とともに歩み続ける道後唯一の造り酒屋。看板商品の銘酒「仁喜多津」や「道後ビール」に加え、「暖簾を守るな、暖簾を破れ」の理念のもと、ナスやソラマメを使った新感覚の焼酎、大吟醸で作るケーキ、酒粕石けんなど、ジャンルにとらわれない発想で商品を生み出している。にきたつ庵、道後麦酒館など蔵元直営店も展開。



清酒 仁喜多津 上撰酒

創業以来、一世紀以上にわたる歴史の中で磨きあげられてきた逸品。芳醇な味わいと香り、柔らかな舌触りが楽しめる(1.8L 1982円)

道後エール 道後オレンジ・エール

フルーティな甘みと香りが漂うエール

地ビール「道後ビール」をベースにまつやま農林水産物ブランドの「紅まどんな」の果汁をたっぷり使ったエール。年中楽しめるよう、清見タンゴール、せとか、カラマンダリンなどの柑橘を季節に応じて使用。爽やかな香りとはのかな甘み、すっきりした味わいが特徴で、世界的なコンテストでも入賞している。200ml 356円。にきたつ蔵部で購入でき、直営店で飲める。

[にきたつ蔵部] 松山市道後喜多町3-23 / TEL089-924-6616 / 月曜定休 / 10:00~18:00



昭和20年頃の道後温泉本館前を流れる川(現・熱田津の道)。(愛媛県歴史文化博物館蔵、故・村上節太郎氏撮影) (下)川は現在暗渠になっている(上)



SHIRASAGI

見た目・食感・味と変化を楽しむ
アートスイーツ

傷ついた白鷺が湧き出る湯に足をひたして傷を癒したという道後温泉の「白鷺伝説」をもとに誕生。白鷺をイメージした和菓子「道後夢菓子噺」をまん中に、抹茶のクリームやメレンゲ、ガナッシュなどを盛り付け、ストーリーを表現している。目の前で温かいチョコレートソースをかけると、とろ〜りと目の前でスイートチョコレートの蓋が溶けるが、その瞬間は感動的。1080円。一六茶寮で味わえる。

[一六茶寮] 松山市道後湯之町20-17 一六本舗 道後本館前店2階 / TEL089-921-2116 / 木曜定休(※祝祭日の場合変更あり) / 11:00~19:00 (OS18:30)

ちやらく 茶楽パフェ

和菓子店ならではの
上品な抹茶パフェ

「茶楽パフェ」は、山田屋まんじゅう 道後温泉店内に併設する日本茶専門カフェ「茶楽」で味わえる。あんこやアイス、白玉、寒天すべてにお茶の風味が香り、山田屋の家紋・梅鉢を模したこし餡と県産栗を包んだ濃厚抹茶バウムクーヘンなどが、華やかにトッピングされている。1080円。

[山田屋まんじゅう 道後温泉店 日本茶専門カフェ茶楽] 松山市道後鷺谷町5-13 道後温泉本館東側道路沿い / TEL089-921-5388 / 無休 / 10:00~19:00



松山名菓タルトで有名な 一六本舗

明治16年(1883)今の大街道本店の場所で創業。主力商品は名物「一六タルト」で、包丁が要らないようあらかじめスライスをする画期的アイデアを始めた。近年、柚子の香る餡の入ったベーシックなタルトだけでなく、抹茶や季節限定のタルトも販売。タルトを天ぷらにする斬新な試みでも話題を集めている。県内30店舗、全国に販売店を持つ。

一六タルト 柚子

柚子風味の餡をスポンジ生地で巻いた「一六タルト 柚子」(ひと切れ118円)。タルトのルーツは、松山藩松平家初代藩主松平定行が、ジャムをカステラで巻いた南蛮菓子のタルトに出合って、製法を松山に持ち帰り、餡を巻いてアレンジしたと言われる



一六タルトの
天ぷら

一子相伝の味を全国へ 山田屋

創業は慶応3年(1867)。一人の巡礼者が泊めてもらったお礼にと一軒の商家にまんじゅうの作り方を伝授した。主(あるじ)は宇和町(現・西予市)にある「山田薬師寺の薬師如来が姿を変え、教えてくださった」と信じて店を開いたとされる。東京の歌舞伎座など全国に販売店を持ち、松山には3つの直営店がある。一子相伝で守り続けたこだわりのしるこや、ほうじ茶プリンなども展開中。



山田屋まんじゅう

上質な小豆と白砂糖を使用したわずか22gの一口まんじゅう。透き通るような薄皮に包まれ、食感と上品な甘さが愛され続けている。1個108円



熱い挑戦 老舗のスピリットと

伝統を受け継いで進化させる

松山市民なら誰もが知る老舗中の老舗。「伝統は守りつつ、新たな挑戦を恐れない」そんな熱いスピリットを持つ店がある。



いで湯とともにこれからも

百年先を見据えた 道後温泉

明治27年(1894)、百年先を見据えて改築された
三層楼の道後温泉本館。
平成31年1月から始まる
営業しながらの保存修理工事も、
また、未来の道後温泉を見つめて行うものである。
飛鳥乃湯泉と椿の湯の二つの外湯も整った。

「見せる工事」の演出で、 新たな楽しみ方を提案

平成31年(2019)1月から、
由緒ある道後温泉本館は、2期7年
間に及ぶ保存修理工事に入る。部分
的に工事をしながら、一方で工事を
しない浴室を使って営業を行うため、
工事でも入浴でき、この時しか楽し
めない企画が進められている。
その一つが「見せる工事」。保存修
理工事と手塚治虫氏のライフワーク
となった作品「火の鳥」がコラボレ
ーションした演出などが予定されて
いる。



明治5年の道後温泉。
左から一・二・三之湯が
並んでいた。藩政時代
に武士・僧侶用だった一
之湯だけ、唐破風の屋
根を持つ(松山市所蔵)

かつて、道後湯之町初代町長の伊
佐庭如矢は、「百年の後までも他所
が真似できないようなものを作って
こそ、はじめてそれが物をいう」と
住民を説得して、三層楼の道後温泉
本館(現在の神の湯本館)を建築し
た。その完成は明治27年(1894)
だったが、120年以上が過ぎた今、
再び、百年先を見据えたプロジェク
トが始まった。



本館保存修理工事について

【1期目】2019年1月15日～(3～4年)

・現在2室ある神の湯男湯を、男女に分けて使用。
・神の湯女湯、霊の湯、又新殿、2・3階の休憩室
は休止。

※II期目は、神の湯棟の工事をするので、男湯は
(現)霊の湯男湯を、女湯は(現)神の湯女湯を使用。
※「見せる工事」として、仮囲いの演出化や工事見
学会の開催なども企画されている。

一周年を迎えた 道後温泉別館 飛鳥乃湯泉



「2018年度グッドデザイン賞」を受賞



アートを感じる新しい道後温泉

道後温泉別館 飛鳥乃湯泉は、平成30
年(2018)12月26日で一周年を迎えた。個
性豊かな個室休憩室や道後温泉本館にあ
る皇室専用浴室「又新殿」を再現した特
別浴室などが人気で、評判は上々だ。館
内では、愛媛の伝統工芸とアートがコラボ
レーションした作品で彩られている。



太古の道後へ誘うエントランスにお目見えした書家・紫舟の書の彫刻。飛鳥
乃湯泉のコンセプトに合わせ、道後にまつわる歴史や文化を「水流香」の3
文字で表現。立体的な文字は、光の角度によって見え方、感じ方も違う

地元の入浴客が多い 椿の湯



伊予弁が飛び交う ふるさとの湯

昭和59年(1953)に改
築され昨年12月にリニ
ューアルされた椿の湯は、
蔵屋敷風の佇まい。市民
の利用が多いふるさとの
湯である。湯釜には子規
の俳句が刻まれている。



COLUMN

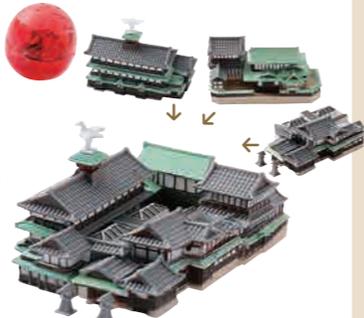
道後温泉とコラボしたおみやげ

あげるも楽し、もらうも楽し。道後温泉とコラボレーションした
素敵なアイテムを旅の記念にいかが。

カプセルトイ 「道後温泉本館」全3種

ガチャガチャッと楽しみたい
道後温泉本館がカプセルトイに
なった。南棟および玄関棟、又新
殿、神の湯棟の3種。屋根を外せ
ば神の湯の内部構造まで分かる
精巧さ。石灯笼まで再現!

◆1個300円/道後商店街、松山
空港、松山城、デパート・スーパー
などの大型商業施設で販売/お問
合せはガチャ王国(マキシム愛媛)
TEL089-979-3585



3種そろって堂々たる道後温泉本館が完成

手ぬぐい「くれなゐの」

花や葉の美しい色合いを楽しんで
現在開催中(～2019年2月28日)の「道後
オンセナート2018」の作品として、陶芸家
である鹿見島睦が草花・動物をモチーフに
浴衣を制作。その中の「くれなゐの」の柄
を手ぬぐいにした。有機的に絡み合う草
や花のモチーフが美しい。

◆各1620円/90×37cm/
道後オンセナート2018案内所
(TEL089-907-5930)で販売



「くれなゐの」は、
松山出身の俳人、
正岡子規が春に
芽吹くバラをうた
った短歌より引用

現在の道後温泉本館



小柳義治さん(43歳) 全国各地⇩松山市

” 伝統と革新で、人気の石臼豆腐店「まめ楽」を営む。

” 新星にして松山・道後の名店になっていく「まめ楽」。店主の小柳義治さんは、ひとが温かいこのまちを気に入って、脱サラして移住し、伝統の石臼製法を友人から引き継いだ。



プロフィール 山口県光市出身。大学卒業後、大手アミューズメント会社に就職。事業や空間のプロデュースなどに携わる。東京、大阪、広島、金沢と転動で各地をめぐる間、長野出身の妻と結婚し、2012年に松山へ。移住を決意し退社し、2017年、道後公園のそばで「まめ楽」をオープン。



石臼豆腐定食1300円。江戸時代の製法で作られた石臼豆腐が味わえる



石臼・手絞り・出来たて豆腐の店 まめ楽 Tofu shop MameRaku Made in DOGO, JAPAN



友人から譲り受けた石臼で豆腐を作る。朝4時には店に来て準備を始める

ひとが温かい松山が好き

石臼をゆつくりと回すと、重なる石の間からつぶれた大豆がトロリと垂れてくる。全国的にも珍しい「まめ楽」の石臼びきの伝統製法は、もともと、店主・小柳義治さんの友人がやってきた商いだった。

大手アミューズメント会社で営業職をしていた小柳さんは、2012年、妻子と一緒に転動で松山へ。四国各地を飛び回る日々「やりがいがありました」。この間に石臼豆腐に出会う。子どもが通う幼稚園の「パパ友」が

「まめ楽」の屋号で豆腐店を経営。「自宅に遊びに行ったとき、その味に感動しました。同時に、石臼で引き、手しぼりをするなど相当の間がかかるので、これで食べていくのは大変だろうなと正直思いました」。小柳さんの直感通り、「生計が立たない」と友人は豆腐店をたたみ、東京へ戻ることになった。小柳さん自身も、広島への転動が決まった。

ところが、妻子は、松山でできたひととのつながりを手放したくないと松山に残る。一方、小柳さんは広島で単身生活を送るうち、今が人生のターニングポイントだと退社し、松山への移住を決断した。

「実家の山口を出てからいろんな地方都市で暮らしました。松山はひとが温かく、コンパクトシティで住みやすい。ずっとここにいたいと思わせる魅力がありました」

石臼から可能性が広がる

就職活動を始めたが、脳裏に浮かぶのは継承者がいないあの石臼豆腐。持ち前のポジティブ思考で事業計画を練り始めた。ランチやスイーツなどを提供し、物販を充実させるアイデアを考案。「これならいけるかも」と、友人が石臼を学んだ高知の師匠の元に通って技を学んだ。こうして2017年、公園の緑を望むお気に入りのロケーションで、伝統食材をカフェスタイルで楽しむ新生「まめ楽」は産声を上げた。

松山MAP



松山市は、中心部に都市機能が集まり、路面電車が活躍する、とっても便利なコンパクトシティ。街の真ん中にはお城がそびえてランドマークになり、市街地から道後温泉までは電車で10分という近さ。旅がしやすく暮らしやすい街です。

市街地MAP



※青字のスポットは本誌で紹介しています



アクセス

- 飛行機 羽田空港～松山空港 約1時間30分(JAL, ANA)
成田空港～松山空港 約1時間40分(ジェットスター<LCC>)
伊丹空港～松山空港 約50分(JAL, ANA)
関西空港～松山空港 約50分(ピーチ<LCC>)
JR JR+船 JR+長距離バス



松山空港まで直行便がある都市(空港)

1ペア
組2名様



① 松山の旅にご招待

成田〜松山往復航空券+宝荘ホテル 道後御湯1泊2食付宿泊券

宝荘ホテル 道後御湯は、道後の温泉街に生まれた現代湯治のための湯宿。30室のすべての客室に道後温泉引き湯の露天風呂があり、展望大浴場・露天風呂も完備。お部屋とともに、スカイラウンジからも松山城下を一望。現代的な和の空間で、ゆったりと贅沢にプライベートな旅の時間を満喫できます。成田〜松山を結ぶジェットスターの航空チケットをセットにした宿泊券で、松山道後の旅をお楽しみください。

道後御湯 ☎089-931-7111

<https://www.dogomiyu.jp>

※航空券および宿泊券の利用は繁忙期を除きます

松山への旅や
特産品など
素敵なプレゼントが
当たります

『暖暖松山』15号はいかがでしたか。
お読みいただいた方の中から、
抽選で松山の素敵なプレゼントが当たります。
パソコンかスマートフォン、ハガキで、
アンケートに答えてご応募ください。

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
応募締切/2019年2月28日(木)。ハガキの場合は、当日消印有効
※発送時期によりプレゼント内容を変更する場合がございます。

5
名様



② 一六本舗から

「ひと切れ一六タルト」

15個入り

一六本舗は定番のタルトに加えて季節のタルトも展開。その一つ、いちごの王様「あまおう苺」を使った冬限定タルトと、定番の柚子・抹茶の3種類のひと切れサイズ15個入りをプレゼント。

一六本舗 ☎0120-161647

<http://itm-gr.co.jp>

5
名様



③ 水口酒造から

美肌3点セット

美しい肌を育む日本酒生まれの化粧水「道後美水」と、道後温泉の成分を凝縮したアルカリ単純泉の入浴剤「道後の湯」、吟醸酒粕と無農薬米ぬかをを使った手作りの「清酒 仁喜多津 酒粕石鹸」の、女性にうれしいセット。

水口酒造 ☎089-924-6616

<http://www.dogobeer.co.jp/>

※道後美水は清酒ですので、20歳以上の方の応募に限らせて頂きます。

10
名様



④ 山田屋から

「山田屋まんじゅう・

こきび・まろぶ詰合せ」9個入り

慶応3年の創業より150年を迎えた山田屋。一子相伝の山田屋まんじゅうと、創業150年を記念してきび糖で作った「こきび」、白餡を包んだ冬限定定番白な「まろぶ」の詰合せ9個入りをプレゼント。

山田屋 ☎089-911-7118

<https://yamadayamanju.jp/>

3
名様



⑤ まつやま農林水産物ブランド認定

「せとか」

3kg程度

柑橘の最高峰ともいわれる「せとか」は、清見タンゴール、アンコール、マコーコートという人気柑橘のいいとこ取りで生まれた品種。酸味と濃い甘味のバランスがよくて美味。皮がむきやすく、種がほとんどないので食べやすいのもうれしい点。

まつやま農林水産物ブランド化推進協議会
<http://www.matsuyama-brand.com/>

ハガキでご応募

ハガキに次の①〜⑦を明記して、下記までお送りください。

①ご希望のプレゼント番号(ひとつ)②本誌を読んだ感想③〒住所④お名前⑤年齢⑥性別⑦電話番号

〒102-8515 (住所不要)サンケイリビング新聞社 地域ビジネス創造部「暖暖松山」プレゼント事務局

◎受付業務は、サンケイリビング新聞社が代行します。個人情報をご応募者から第三者に提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)。

◎個人情報は、プレゼント賞品の発送、及びアンケート集計のみに利用し、厳重に管理いたします。

◎プレゼント賞品に関するお問い合わせは、えひめリビング新聞社までご連絡ください。(TEL089-931-5800)。

◎松山市の個人情報保護制度については、松山市のホームページをご覧ください。<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/johokokai/kojinjohouhougoseido.html>

◎当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。応募締切/2019年2月28日(木)。ハガキの場合は、当日消印有効

2019年1月発行/企画・発行:松山市 総合政策部 シティプロモーション推進課 TEL089-948-6707

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2 松山市ホームページ <https://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

暖暖松山編集部:サンケイリビング新聞社・えひめリビング新聞社内 撮影:丹生谷千聡・木村孝・吉田正之・和田浩志 アートディレクション:松下亮介・和氣敬憲(以上エス・ピー・シー)

デザイン:土居麻巴香・松本純・林真央・野中寛史・山本祥弘(以上エス・ピー・シー) タイトルデザイン:漆原悠一(tento) 印刷・製本:大日本印刷 配布:サンケイリビング新聞社

この冊子は、環境対応紙とベジタブルインキを使用しております。

※掲載データにつきましては、2018年12月現在のものです。情報の内容は変更される場合がございますのでご了承ください。本誌記事、写真等の無断複写、及び転載を禁じます

パソコン・スマホでご応募

バックナンバーもこちらから



<https://www.dandanmatsuyama.com/dandan/>

暖暖松山プレゼント

検索

パソコン・スマートフォンでご覧になれます

